

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年12月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	堺泉北埠頭株式会社
所在地	大阪府堺市堺区築港南町12番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 中田 憲正
担当者連絡先	電話：0725-20-2270
	メール：yamaji@osaka-ssf.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.osaka-ssf.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<ul style="list-style-type: none"><li>・当社は、堺泉北港においてグレープフルーツやオレンジなどの輸入青果物を安定・確実に西日本の消費者に提供するための集配基地である堺青果センターの管理運営を行うため昭和48年に設立され、以降、近年では輸入青果物以外の野菜や花卉などに加え、国産品の輸出促進にも取り組んでいます。</li><li>・泉北地区の公共岸壁の整備にあわせて、経済のグローバル化に伴う貨物需要に応えるため、上屋や輸出中古車のストックヤードを運営しています。</li><li>・平成28年より堺泉北港の港湾運営会社として埠頭運営事業を開始し、フェリー・コンテナ・外内貿ROROの岸壁や荷捌地に加え、荷役機械等の運営を行っています。</li></ul>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	港湾計画に基づく計画的な埠頭再編 ・環境にやさしい埠頭づくりや、ドライバー不足等の社会課題への貢献、埠頭機能の強化を図る。	【目標（目標年次2020年代後半）】 ・埠頭内の輸出中古車ヤードの分散解消 ⇒中古車輸出拠点機能の強化 ・内航RORO岸壁の大型化対応、分散解消 ⇒ユニットロード機能の強化 ・中古車・コンテナ・RORO船の混在利用解消 ⇒拡張性と安全性の両立

(次項へ続く)





カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
26 貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・大阪府が設置する「大阪府みどりの基金」への寄付 ・自治体、(港湾)事業者主体の堺泉北港美化活動へ参画 ・地元自治体などと連携をしてイベントの(後方)支援を行っている。 ・教育機関対象の施設見学を実施する。【予定:小学生高学年以上対象】				4						11		14	15		17		
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・港湾管理者および地元市と共同でポートセールスや利用促進活動を実施 ・国から認定を受けた産直港湾として、堺泉北港を通じて農林水産物・食品輸出の拡大を図る。 ・施設の更新や補修に際し、市内・府内業者への積極的な発注に取り組んでいる。									8	9	11	12	13				
28 組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・SDGsに関する社内取組内容を記載する中期経営計画の作成段階から全社体制で検討・策定を行っている。									8	9					17		
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・契約書のリーガルチェック、社内規定に準じた相見積の確認、契約審査会等の実施により法令遵守に努めている。															16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・担当部署を定めている。															16		
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	・株主総会を通じたステークホルダーとの情報共有。 ・事業内容や支援策等のトピックを自社ホームページに公開している。															16	17	
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・西日本における輸入青果物の集配基地として、パートナー企業と協力し、植物防疫法等の法令遵守に基づき、物流サプライチェーンを構築。また、施設を運営する関連事業者から構成された協議会を通じて、業務の円滑な運営と労働環境の整備に取り組んでいる。(構内安全パトロール・避難訓練等の実施) ・港湾運営会社としての埠頭群の管理運営における「業務改善委員会」を設置し、事業遂行状況のモニタリングや施策の見直し、改善方針案の決定を委員会で行い、業務改善に向けた体制を構築している。 ・水防・高潮・地震・消防計画を策定している。									8		12				16		
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・南大阪地域を中心とした港湾物流及び阪神港の一翼を担う物流機能の安定確保に取り組んでいる ・西日本における輸入青果物の集配基地として、シトラス類・バナナを中心に、パートナー企業と協力し、安全・確実に供給している。 ・教育機関対象の施設見学を実施する。【予定:小学生高学年以上対象】			3						11	12				16	17		
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・堺泉北港・阪南港港湾事業継続計画協議会の会員として参画している。									9	11	13.1			16			
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9						17		



(様式第4号)

令和6年1月13日

## SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 大阪府堺市堺区築港南町 12 番地

名称： 堺泉北埠頭株式会社

代表者： 代表取締役社長 中田 憲正

登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	港湾計画に基づく計画的な埠頭再編 ・環境にやさしい埠頭づくりや、ドライバー不足等の社会課題への貢献、埠頭機能の強化を図る。	【目標（目標年次2020年度後半）】 ・埠頭内の輸出中古車ヤードの分散解消 ⇒中古車輸出拠点機能の強化 ・内航RORO岸壁の大型化対応、分散解消 ⇒ユニットロード機能の強化 ・中古車・コンテナ・RORO船の混在利用解消 ⇒拡張性と安全性の両立	港湾管理者と共に、関係事業者に対し、埠頭再編に向けて概要説明を行った。